

◎分科会アピール

推進委員長にいきなりなって、5年目になりました。前任者から、恫喝かけられて、有無を言わずと言う構えだったので、潔く引き受けました。何もわからずに。本部にはとてもご心配をおかけしたと思います。でも、とても勉強になりました。

私は、漁師だったこともあり、組合と言えば漁業協同組合を直ぐ連想してしまいます。青年部と言えば、青いカップにタオルのはちまき、右手に一升瓶、左手にウニやアワビを抱え、うおーっ！やっぞー！・・・おめーはこうだとか、おれはこうする、おめーのそこがだめなんだ、んだっけ、逃げられたんだ、うるせーっ。・・・今では懐かしい青年部でした。

60に近くなってやっと、高教組が浮かぶようになりました。

そういうわけで、私は水産が専門なのですが、農業とか、工業、商業、支援学校などの組合員のレポートはどれもとても新鮮で、興味を引くものばかり。

討議の柱には、特に関係あったり無かったりで、いろいろな方向に話題が広がり、来て良かった、聞いて良かったと言う具合になります。

みなさん、ウニやアワビはありませんが、その話は出来ます。気軽に来て下さい。

◎推進委員長

竹内 顕二（宮古水産高校）

17. 家庭科教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①魅力的な授業実践例の紹介
- ②家庭科教育をとりまく課題
- ③小中学校との連携やその課題

◎推進委員長

及川美佳子（一関第二高校）

18. 保健・体育教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①体育の授業実践
- ②運動部活動指導の実践
- ③保健の授業実践

◎推進委員長

吉田 哲（一戸高校）

19. 保健教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①児童生徒の心やからだの健康問題を教職員みんなのものにするために保健室から発信していこう
- ②保健室の実態や課題について
- ③養護教諭の職務の悩みや疑問について

◎推進委員長

佐々木智恵子（千厩高校）

20. 障害児教育分科会

◎共同研究者、共同討議者紹介

共同研究者：東 信之さん（岩手大学）

渡部 友晴さん

（沿岸南部教育事務所）

◎今年の討議の柱

- ①インクルーシブ教育に向けた実践
- ②進路、卒業後の地域における自立生活を念頭においた実践
- ③職場課題

◎分科会アピール

本分科会では上記の3本を討議の柱として分科会内でのレポート討議を行います。

様々なレポートを参加者皆で協議しながら深めていける会にしていきたいと考えています。

◎推進委員長

本館伸太郎（一関清明支援学校）

21. 芸術教育分科会

◎今年の討議の柱

- ①観点別評価の状況について
- ②音楽・美術・書道間の相互理解・共通点について活かせること
- ③芸術教育の現状と課題

◎推進委員長

多田 智章（水沢工業高校）